

# 「人の動き」から将来の都市交通を考える

パーソントリップ調査にご理解とご協力をお願いします



## 調査の目的

県民のみなさんは、通勤や通学のときに、渋滞でイライラしたり、排気ガスや騒音、交通事故が気になったりしませんか。  
また、デパートや病院へ行きたいのに、交通手段がなくて困ったことありませんか。  
こうした問題を解決し、人と環境にやさしい交通とまちづくりに役立てるため、県では、十月から十一月まで「第三回パーソントリップ調査」を行います。

沖縄県では、自動車保有台数の増加、バス利用者の減少に伴い、自動車社会がますます進展しています。  
特に那覇市、浦添市などの都市部では、大都市並みに道路が混雑し、環境に悪影響を与えています。

また、中南部への人口集中、観光客の増大や高齢化社会の進展などにより、交通環境が厳しくなることが予想されます。

そのため、交通環境の変化に対応できるような道路整備や、バス、モノレールなど公共交通機関の利用促進を考える必要があります。

そこで、県では、パーソントリップ調査を行い、県民のみなさんの動き（時間、目的、手段など）を捉えて、交通実態を把握します。

今回の調査結果をもとに、県は関係機関と協力して、二十年後の中南部都市圏を想定した「総合的な都市交通計画」を策定します。

計画では、交通環境の問題に対応した道路網計画や、バス、モノレールといった公共交通機関の有効活用策、新しい交通システムの導入などについて検討していきます。

## パーソントリップ調査とは

パーソントリップ調査は、「人（パーソン）の動き（トリップ）」を捉え、交通実態を把握し、交通計画を策定することを目的としています。

### 調査日1日の動きで

- どのような人（パーソン）が
- どのような時間帯に
- どのような目的で
- どのような交通手段を利用して
- どこから、どこへ
- 移動（トリップ）しているか

中南部都市圏の総合的な都市交通計画を策定

## 調査の概要

県民のみなさんの平日一日の動きについて、次のとおり調査を行います。

### ● 調査期間

平成十八年十月～十一月

### ● 調査対象

読谷村・うるま市より南にある本島中南部都市圏（十七市町村）を対象地域とし、住民基本台帳をもとに無作為に対象世帯を抽出。満五歳以上の方を対象者とします。

- 対象地域人口（百一十一万三千人）
- 対象世帯数（三万二千世帯）
- 対象者数（九万人）



### ● 個人情報の保護

調査に当たっては、データ管理に関するガイドラインを作成し、個人情報の漏洩防止を徹底します。

### ● スケジュール

- 平成十八年度（調査の実施）
- 平成十九年度（集計と分析）
- 平成二十年度（予測と計画策定）

## 調査の方法

「お願いはがき」が届き、調査方法を選択します。

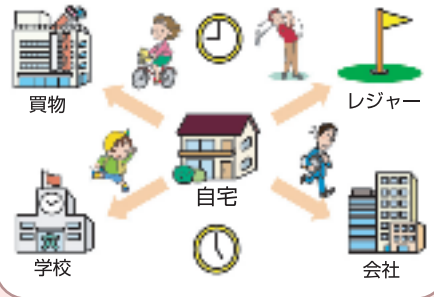
● 家庭訪問調査の場合（調査員が対象世帯に調査票を配付して、記入後に調査員が回収します。）

● インターネット調査の場合（インターネットで実査本部サーバーにアクセスし調査票に入力します。）



## 調査の活用

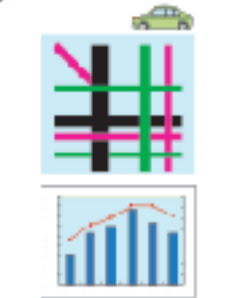
どのような人が、いつ、どこからどこへ、どのような目的で、動いているか。



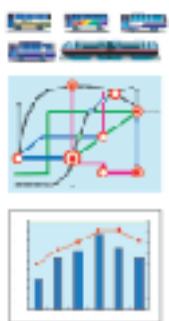
どのような交通手段がどれぐらい利用されているのか。



この調査結果をもとに、総合的な都市交通計画を策定します



都市内の幹線道路網の計画や自動車の将来交通量推計を行います。



公共交通ネットワークの提案や需要推計を行います。

更に、この計画が様々な個別計画に活用されます



自動車から公共交通機関への転換施策



渋滞対策やCO<sub>2</sub>削減などの環境対策



都市や地域などのまちづくり計画